

住生活基本計画(全国計画)の見直しの概念図

参考資料2

人口・世帯数の減少、少子高齢化等、我が国の社会経済情勢が変化し、国民の居住ニーズが多様化していく中で、国民が真に豊かさを実感できる社会を形成するために、**豊かで持続可能な住生活を実現**する。

社会経済
情勢
の変化

人口減少

世帯数減少

少子
高齢化

家族形態
の多様化

価値観の
多様化

災害の
切迫

環境・
エネルギー
制約

人の住まい方

住む場所に関するニーズ

職住近接、同居・近居、都心居住・郊外居住・田舎暮らし、二地域居住 等

住宅の種別に関するニーズ

持家一借家、戸建一マンション 等

家族形態の多様化 に応じたニーズ

nLDK一一室空間、一家族一住宅
一コレクティブハウス・シェアハウス等、
居住面積のあり方 等

ライフスタイル・ライフステージ に応じたニーズ

若者の自己実現
子育て層の希望に応じた家庭づくり
高齢者等の安心・健康な暮らし 等

実現する
ために

住まいのあり方

良質な住宅ストックの形成及び将来世代への継承

住宅ストックのマネジメントシステムの確立

適切な維持管理、リフォーム・リノベーションによる質の向上、既存住宅ストックの活用促進、不良な住宅の除却の促進、良質な住宅の供給

目標1

ライフスタイルやライフステージに応じた多様な居住ニーズの実現

多様な居住ニーズに応じた住宅の選択肢の提供

既存住宅ストックの活用促進[再掲]、賃貸住宅市場の確立 等

住生活関連サービスの充実

目標2

住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保

社会的弱者の居住の安定の確保

実現する
ために

居住環境のあり方

良好な居住環境の形成による地域の価値の向上と 豊かなコミュニティの形成

まちづくりと住まいづくりの連携による地域の価値の向上

豊かなコミュニティの形成

目標4